国際園芸アカデミー

WORKSHOP

花の引っ越し

概　要 OUTLINE

担　　当：国際園芸アカデミー
日　　時：2015年8月20日(木) 10:00～15:00
場　　所：美術館 庭園
スタッフ：国際園芸アカデミー 25人、
　　美術館 4人、他
参 加 費：無料
参加人数：20人

チラシ

美術館で発芽する
プランターづくり

「色の棲」に取り付けるプランターへ苗を植替えるワークショップ。苗は国際園芸アカデミーがあらかじめ栽培したもの。同校の学生及び卒業生がインストラクターとなり、参加者と一緒に植替えを行った。ワークショップと並行して、学生がプランターに種をまき、美術館で発芽するプランターづくりも行った。終了後、スタッフでプランターを実習棟横の仮設棚に移動し、育成した。

美
岐阜県美術館

WORKSHOP

日比野克彦の「色に関する100の指令」

概　要 OUTLINE

担　　当：美術館
日　　時：2015年9月5日(土)・6日(日) 14:00～16:00
　　10月3日(土)・17日(土) 16:30～18:00
　　11月7日(土)・22日(日) 14:00～16:00
　　12月12日(土)・13日(日) 14:00～16:00
場　　所：美術館 庭園(9月6日は雨天のため実習棟)
スタッフ：日比野克彦、美術館 1～3人、他
参 加 費：無料
参加人数：9月5日 44人、9月6日 37人、
　　10月3日 21人、10月17日 30人、
　　11月7日 12人、11月22日 31人、
　　12月12日 92人、12月13日 117人

ワークショップの流れ FLOW

1. 和紙を適当にちぎって、好みの色に染め、花びらをつくる。
2. 軸となる針金に、和紙を巻きつけ、花をつくる。
3. 花を挿す角材に、花の名前や花言葉、産地などを書く。
4. 「すの四」に作った花を飾る。

「すの四」に設置

岐阜の和紙で花をつくるワークショップ。参加者は様々な色の和紙を染めて花びらをつくり、岐阜県産のスギ角材に花の紹介コメントを書いた。完成後、「色の棲」の「すの四」に花を飾った。11月22日以降の参加者は「色の棲」の花から種の採取を行った。

県美の庭でこんなに長い時間を過ごしたのは初めてです。通り過ぎるところではなく、館の人と話ができたり、初めて会う人とお話ししたり、時間を使う場所となり、より親しみを感じます。皆の棲家となって、いろんな種が採れて、また花が咲いて、楽しい場所や、いろんな発見のある場所になるといいなと思います。
（東京・40代女性）

Collecting the seeds was very fun and I learned how to collect them from different flowers. I am excited to plant them next spring and to take some back to California when I return home.
（種を採るのはとても楽しく、それぞれの花からの種の採り方を学びました。来年の春に種を植えるのが楽しみです。カリフォルニアに戻るとき、いくつか持って帰ります。）
（カリフォルニア出身岐阜市在住・20代男性と女性）

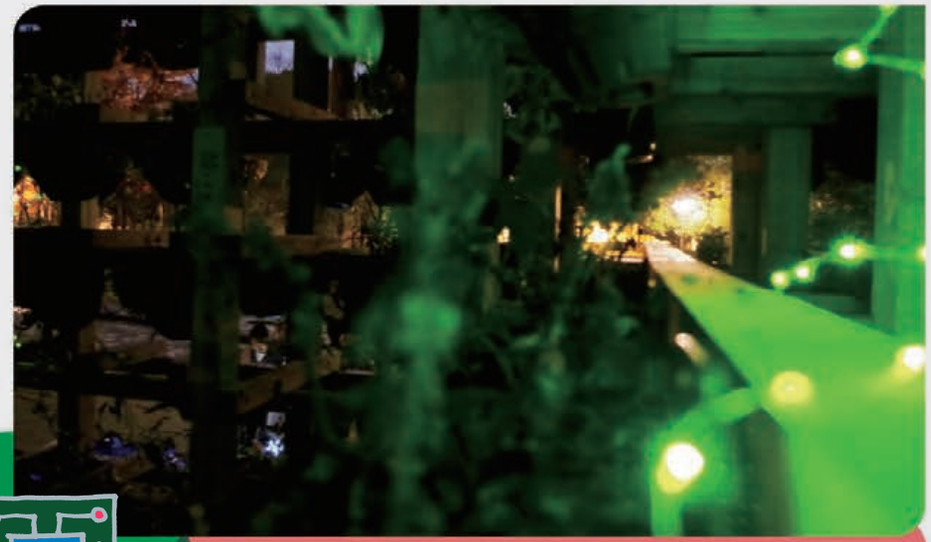
ワークショップすごく楽しかったです。またやって下さい。
（本巣市・30代女性）

角材に挿した花

庭園で花づくり

種の分類

12月には種の採取



EXHIBITION

ホタルの棲む気配のキュービクル

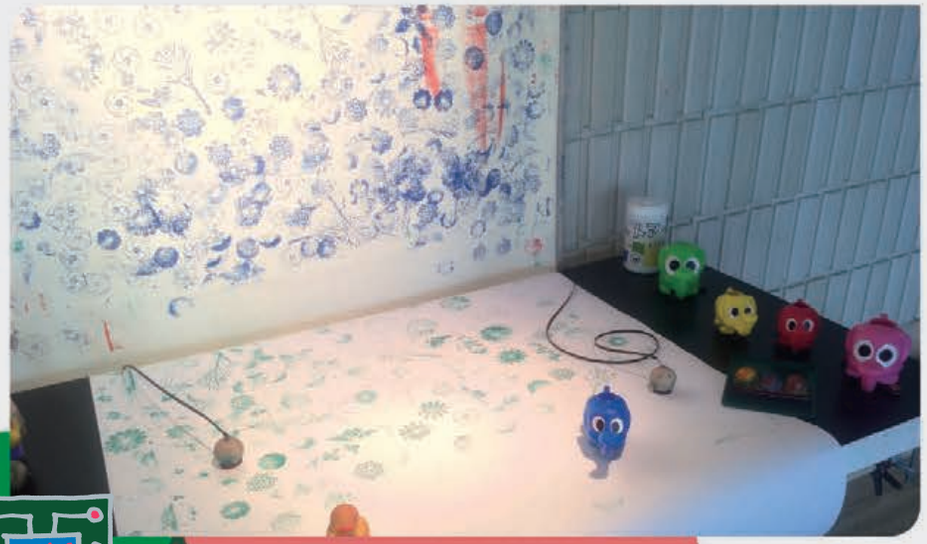
概　要 OUTLINE

担　　当：情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
日　　時：2015年9月5日(土)〜12月13日(日)
場　　所：美術館 庭園(色の棲「すの一」)
スタッフ：情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 1人、
　　美術館 1人、他
参 加 費：無料

情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の学生と研究員が制作した屋外展示作品。会期中、「色の棲」の「すの一」に、ホタルの光り方を模して明滅するLED電球を設置した。それらに近づくと、人感センサーによって、ホタルが飛んで逃げていくかのようにプログラミングされ、一帯の明かりが一斉に消えた。

夜の様子

「すの一」の中の様子



EXHIBITION

花木のささやき

概　要 OUTLINE

担　　当：情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
日　　時：2015年9月5日(土)～12月13日(日)
場　　所：美術館 ホール
スタッフ：情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 3人、
　　美術館 1人、他
参 加 費：無料

情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の学生と研究員が企画、プログラミングし、制作した参加型展示。会期中、参加者は美術館ホールに設置された大きな紙にスタンプを押した。スタンプは「色の棲」に植えた草花のデザインで、音の出るおもちゃに取り付けられていた。テーブルの下からは、常にかすかな虫の音が聞こえ、押した瞬間その音が高まった。

おもちゃのスタンプ

スタンプを押す様子

STAMP RALLY

花木のささやき集め

概　要 OUTLINE

担　　当：情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
日　　時：2015年9月5日(土)～12月13日(日)
場　　所：美術館 ホール、庭園
スタッフ：情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 2人、
　　美術館 1人、他
参 加 費：無料
参加人数：配布したスタンプ用紙2,030枚、
　　種の配布861人

情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の学生、研究員が企画し、制作したスタンプラリー。「色の棲」に植えた草花の内、15種をデザインしたスタンプを、館内ホールの5カ所に設置した。すべてのスタンプを集めた参加者には庭園で種をプレゼントした。

スタンプラリーのスタンプがきれいでした。ゴールドはうれしかったです。　（羽島市・30代女性）

11月1日は庭園にもスタンプ台を設置

スタンプラリー用紙

国際たくみアカデミー

DEMONSTRATION & WORKSHOP

伝統木造構法による小屋を造ろう

概　要 OUTLINE

担　　当：国際たくみアカデミー
日　　時：2015年9月20日(日)
　　小屋づくり 10:00〜18:30
　　かんな削り等体験 10:00〜15:30
場　　所：美術館 庭園
スタッフ：国際たくみアカデミー 20人、
　　美術館 3人、他
参 加 費：無料
参加人数：かんな削り等体験 30人

かんな削り体験

「色の棲」の脇に設置する小屋をつくるデモンストレーション。国際たくみアカデミーの学生と卒業生が、釘やビスを使用しない伝統構法で1.5坪の小屋を組み立てた。併せて、学生らがインストラクターとなり、参加者が柱のかんな削り等を体験するワークショップを行った。会期中、この小屋は来場者の休憩場所やローズカフェ(p.27参照)、花ラジ(p.32参照)のステージとして使用された。

会場の様子

ノミによるほぞ穴彫り

水平を測定

面取り仕上げ

会期中、休憩場所として使用

森林文化アカデミー

木育ワークショップ

森とお花のカラカラづくり

概　要 OUTLINE

担　　当：森林文化アカデミー
日　　時：2015年9月21日(月・祝)
　　①13:00～14:00 ／ ②14:30～15:30
　　9月22日(火・祝)
　　①11:00～12:00 ／ ②13:30～14:30
場　　所：美術館 スタジオ、展示室、庭園
スタッフ：森林文化アカデミー 4人、
　　美術館 1人、他
参 加 費：無料
参加人数：9月21日 ①20人 ②15人
　　9月22日 ①16人 ②18人

ワークショップの流れ FLOW

1. フタを7種類の木から選び、木目、香り、色などの違いに触れる。
2. フウセンカズラやスイートピーの種を木の筒に入れ、フタをして接着する。ヤスリがけをする。
3. 美術館スタッフが案内し、所蔵品展示の絵の中にある花を探す。
4. 花の絵柄を木の筒に絵付けする。
5. 庭園の樹木を見て、「色の棲」の前で記念撮影を行う。

幼児向けの木育玩具カラカラをつくるワークショップ。カラカラとは木材の円筒で、振ると中の植物の種がカラカラと音をたてる。木育ワークショップとして、多くの方に樹の良さを伝え、木や自然について関心を持つきっかけの場を目指した。森林文化アカデミーの学生がインストラクターとなり、参加者はスタジオでカラカラを制作した。ワークショップ内では、展示室で所蔵品を鑑賞し、庭園で実際の樹木や花に触れ合うなど、館内外で活動した。

様々な種類の木材

カラカラの中に入れる種

スタッフによる説明

ヤスリがけ

鑑賞

絵付け

国際園芸アカデミー

WORKSHOP

地球は丸い、苔も丸い

概　要 OUTLINE

担　　当：国際園芸アカデミー
日　　時：2015年9月26日(土)
　　①11:00〜11:45
　　②13:00〜13:45
場　　所：美術館 実習棟
スタッフ：国際園芸アカデミー 12人、
　　美術館 1人、他
参 加 費：無料
参加人数：①17人 ②18人

ワークショップの流れ FLOW

1. 苔はあらかじめ水に浸し、やわらかくする。
2. 植物をポットから取り出し、根に付いた土を落とす。
3. 根に土を貼り、形を整える。
4. 苔を土にかぶせ、密着させる。
5. 苔がはがれ落ちないようにテグスで苔を巻き上げる。完成後、水につける。

苔玉づくりをとおして植物を育てる楽しさを体験するワークショップ。国際園芸アカデミーの学生がインストラクターとなり、テーブルごとに担当した。参加者はコクチナシ、ダルマギク、アジュガ、ヒラドツツジ、フッキソウなどから好きな植物を選び、様々な形の苔玉をつくった。

家庭菜園が大好きで、これからも機会があれば勉強させていただきたいです。（女性）

こけ玉の中に入れる植物によって雰囲気が違っておもしろいですね。（女性）

皆さん大変親切に指導していただき有意義な時間を過ごすことができました。（女性）

学生による説明

教職員による説明

土を貼る作業

形を整える作業

国際園芸アカデミー

WORKSHOP

花の引っ越し

概　要 OUTLINE

担　　当：国際園芸アカデミー
日　　時：2015年10月4日(日) 10:00〜15:00
場　　所：美術館 庭園
スタッフ：国際園芸アカデミー 23人、
　　美術館 4人、他
参 加 費：無料
参加人数：44人

会期前半で枯れる花の苗を植替えるワークショップ。8月20日のワークショップと同様、国際園芸アカデミーの学生と卒業生たちがインストラクターとなり、参加者と一緒に苗の植替えを行った。新たに苗を植えたプランターは、川沿いに一時保管し、翌日「色の棲」に取り付けた。

会場の様子

ハンギング・バスケットに植替え

美 岐阜県美術館

WORKSHOP

大きな紙にお花がいっぱい

概　要 OUTLINE

担　　当：美術館
日　　時：2015年10月18日(日) 10:00〜14:30
場　　所：美術館 実習棟、庭園
スタッフ：美術館 6人、
　　美術館サポーター 4人
参 加 費：無料
参加人数：70人

「花は色の棲家」にちなみ、紙に花をスタンピングするワークショップ。美術館スタッフとサポーターがインストラクターとなり、参加者は塗料をつけた日用品を紙に押し付けて像をうつすスタンピングを行った。午前はスタンピングした紙で花の壁飾りを作り、午後は全員で大きな紙にスタンピングした色や形を見立てて「花畑」を制作した。

ワークショップの流れ FLOW

1. 「色の棲」で実際の草花を観察する。
2. スタンピングでつくった花と自然物や廃材を組み合わせて花の壁飾りを制作する。
3. 実習棟に広げた大きな紙いっぱいに日用品や手を使ってスタンピングする。
4. 出来上がった作品を「色の棲」へ運び、記念撮影をする。

チラシ

庭園で草花を観察

廃材でスタンピング

花の壁飾り

スタンピング

集合写真